

「第 6 次宇都宮市総合計画改定基本計画」策定方針のポイントと ご意見をいただきたい事項について

1 改定に向けて捉えるべき重点課題について

(1) 人口減少・少子超高齢化の深刻化

本市は全国を上回るペースで少子化が進行するとともに、高齢化率も上昇を続けることが見込まれていることから、これまで以上に少子化対策や高齢化に対応したまちづくりを強化する必要がある。

(2) 市民の豊かな生活を実現する官民と連携したDXの推進

引き続き、誰もがデジタル技術の恩恵を享受しながら豊かな生活を実現できる全国のモデルとなるスマートシティの実現に向け、官民が連携したDXを進める必要がある。

(3) 脱炭素社会構築に向けた要請

SDGs への貢献や地球温暖化を起因とする自然災害の激甚化に対し、国際社会の一員としての本市の責任を果たしていくため、「カーボンニュートラル」の実現に資する取組を強力的に推進していく必要がある。

(4) 新型コロナウイルス感染症による人々の価値観の変容への対応

テレワークの実施やオンラインを利用したコミュニケーションの推進などの「新しい生活様式」への転換、若者の地方移住への関心の高まりなど、人と人のつながり方や価値観の変化に対応していく必要がある。

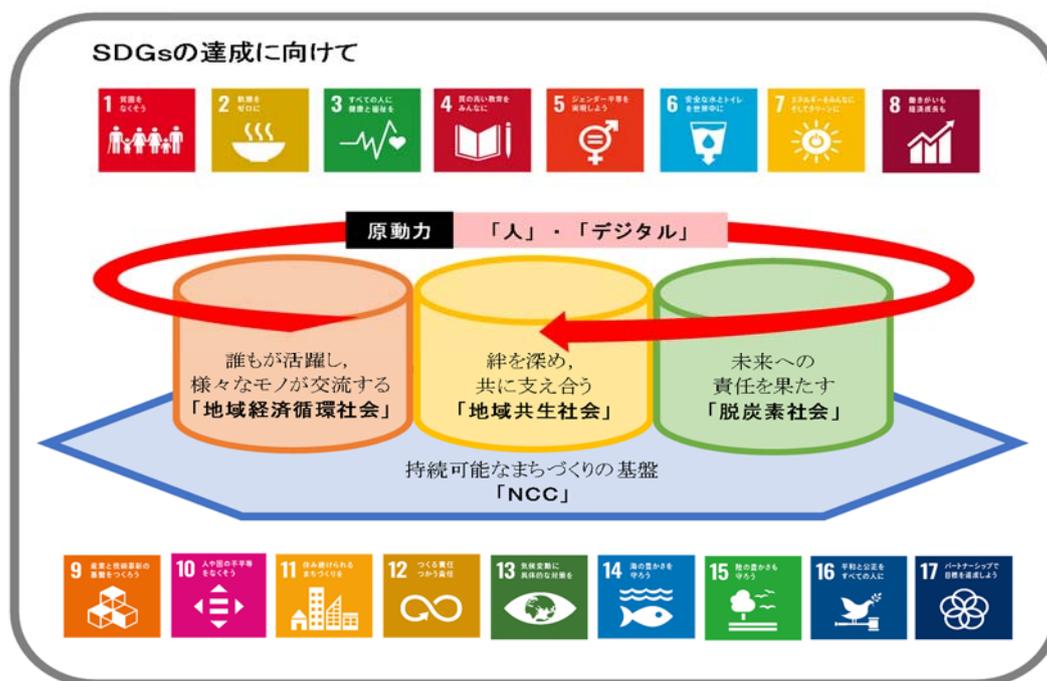
ご意見をいただきたい事項

- ・ 委員の皆様が活動される中で、上記課題についてどのようにお考えであるか、また、どのようなこと実感されているか。

2 本市が目指す「スーパースマートシティ」の考え方について

- ・ 基本構想に掲げる「将来のうつのみや像（都市像）」を実現し、SDGsの達成に貢献していくため、概ね2030年頃を見据えた具体的なまちの姿として、「子どもから高齢者まで、誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ、夢や希望がかなうまち『スーパースマートシティ』」の実現を目指していく。
- ・ 「スーパースマートシティ」の構成イメージとして、持続可能な都市構造である「NCC」を基盤としながら、「地域共生社会」（社会）、「地域経済循環社会」（経済）、「脱炭素社会」（環境）の3つの構成要素が融合し、「人」と「デジタル」を原動力に発展を続けられるまちを掲げた。

【「スーパースマートシティ」の構成イメージ】



ご意見をいただきたい事項

- ・ お示した「スーパースマートシティ」の実現に向けて、どのような点をより強化・充実していくべきであるか。
- ・ 「3つの社会」の実現と「2つの原動力」の強化に向けて、今後、どのような取組を実施していくべきか。